

また、「元気クラブいなべ」とともに開催している「元気づくり体験」などの運動教室は、どんな運動をすればいいかわからない人、運動をしたいと思っても最初の一步が踏み出せない人が、運動の良さ、運動の楽しさを体験することで、運動習慣の広がり結びついていきます。平成18年3月にオープンしました健康増進施設阿下喜温泉「あじさいの里」は、当初目標の年間入浴者数6万人を大きく上回る、10万人の方にご利用いただきました。平成19年度は、不足していた休憩所などのくつろぎスペースを整備するとともに、指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用することで、お客様の満足度の向上をめざします。



元気づくり体験

3-5 医療保険制度の改正

本市は医療費が高く、保険料の安い市です。国民健康保険において、平成17年度の一人当たりの医療費は42万円と県内で4番目に高いにもかかわらず、一人当たりの保険料は7万5千円で、近隣の市町の保険料が9万円前後であることと比較しても、非常に安くなっています。これは国保会計の不足分を税金で補てんしているからであり、平成19年度の国保会計も実質2億3千万円の赤字予算を計上しました。本来、一人当たりの国保の保険料は、近隣の市町と同様の9万円前後が妥当と考えられますが、合併時の値下げが現在まで据え置かれており、一般会計を圧迫しています。また、税金からの赤字補てんは国保加入者とそれ以外の健康保険加入者との均衡を欠くことにもなり、早急な是正が求められています。平成19年度は保険料の算定基準から資産割を除き、所得や家族構成による算出方式に改めますが、一人当たりの保険料は変えず、前年度と同様に税金での補てんを続けます。抜本的な改定については、もう少し議論を深めたいと考えます。また、主に75歳以上の高齢者を対象とする新しい後期高齢者医療制度が平成20年4月から創設されます。この新しい医療制度を円滑に導入するため、平成19年2月に、県下全市町による三重県後期高齢者医療広域連合が設立されました。広域連合との入念な連携のもと、新たに始まる医療制度の適切な運営に向け準備に取り組みます。



阿下喜温泉で職場体験をする中学生

4 あたためたい心に満ちた人づくり

4-1 教育施設の充実

学力向上と情緒豊かな人格形成には、安全で学びやすい環境が不可欠です。平成19年度は員弁西小学校の建替えを計画しており、員弁西保育園が移転でき次第、着工する予定です。また、老朽化している員弁東小学校は員弁西小学校が完成次第、建替えに着手できるよう準備を進めます。山郷幼稚園は山郷保育園の北隣の用地を確保することができ、平成19年度は5歳児の保育施設を増築する形で、幼保一元化に向けての基本設計をはじめます。中学校の給食については、員弁中学校は大安学校給食センターの設備を増強することで、北勢中学校は敷地内に新たな給食センターを建設することで、給食化に向けた検討を進めます。しかし、財政的な問題が大きく、実施には3年近い時間的余裕が必要です。本市は教育に予算を重点配分しており、平成17年度決算は28億円、平成19年度予算は24億円と同規模の市の教育予算18億円を大きく上回り、厳しい財政状況の中でも教育の充実に力を入れています。教育施設の建替えや維持管理には多額の費用を要し、財政を圧迫しています。特に、国県の補助金が減少していることや、統廃合などによる校舎の建設以外は合併特例債が活用できないことから、平成19年度も24億円のうち19億円を一般財源で賄っています。今後、公共施設の統廃合が問題となりますが、学校は地域社会の核となっており、学校を中心として旧村が形成されていることから、安易な統合は考えず、現在の小学校15校体制を基本とし、むしろ学校を地域の交流の場に開放することにより地域力を高め、市全体としての経費の節減を図ります。



員弁西小学校イメージ図